

# 第 1 1 回勝山市生活交通地域協議会次第

(平成 2 9 年度 第 2 回)

日時 平成 3 0 年 1 月 1 8 日 (木)

勝山市地域公共交通会議終了後

場所 勝山市民会館 3 階 第 1 会議室

## 1. 議題

( 1 ) 平成 2 9 年度勝山市生活交通確保維持改善計画の自己評価

【資料 1】

## 2. その他

中部様式1

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

# 勝山市生活交通地域協議会

平成23年6月27日設置

フィーダー系統 平成27年6月26日 確保維持計画策定

## 1.協議会が目指す地域公共交通の姿

### ■ 勝山市の基礎データ

（平成27年国勢調査人口等基本集計）

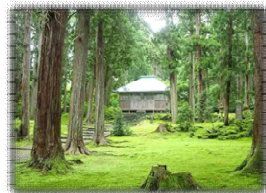
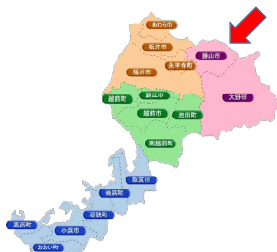
- ・人口；24,125人（17市町中9位）
- ・世帯数；7,703世帯（17市町中9位）
- ・高齢化率；33.96%（17市町中3位）
- ・面積；253.88km<sup>2</sup>（17市町中4位）

### ■ 地域の特性

勝山市は、福井県の東北部に位置し、市の中心は福井市の東方約28kmの地点にあり、南東は大野市に、南西は福井市、北西に坂井市、西に永平寺町、北は石川県に隣接している。市の周辺は1,000m級の山々に囲まれ、中心部は県下最大河川である九頭竜川の中流域に位置している。

市街地は九頭竜川の流れて形成された河岸段丘に位置しており、明治以来の地場産業である繊維産業を中心とした商工業と古くから盛んな農林業を基幹産業とする水と緑の豊かな田園都市である。

観光面では、日本一の恐竜発掘地と「福井県立恐竜博物館」、中世最大規模の宗教都市の史跡整備が進む「国史跡白山平泉寺旧境内」、清大寺「越前大仏」、近代化産業遺産「はたや記念館ゆめおーれ勝山」、そして西日本一の規模を誇る通年型リゾート「スキージャンプ勝山」がある。



## 1.協議会が目指す地域公共交通の姿

### ■ 勝山市の公共交通概要

鉄 道；えちぜん鉄道 勝山永平寺線  
 バス幹線；京福バス 勝山大野線（1路線）  
 フィーダー；コミュニティバス（10路線）  
 観光路線；恐竜博物館直通便、市内観光バス（2路線）  
 福井勝山総合病院を起点に、市の中心地として市役所、商業施設、医療施設等が立地する市道7-89、7-165および一般県道勝山停車場線沿線を通りえちぜん鉄道勝山駅前を経由して、隣接する大野市まで伸びる路線バス1路線（1系統）と、えちぜん鉄道勝山駅前から放射状にコミュニティバスを運行し、路線バスやえちぜん鉄道と結節させている。

### ■ 計画の目標および期間

- ・目標  
 クルマに過度に依存した交通状況から脱却し、公共交通の利用拡大を目的とする。
- ・期間  
 平成23年度から平成32年度



## 1.協議会が目指す地域公共交通の姿

### ■ 公共交通の将来像

#### ○えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画

移動の快適性を向上させ、利用者の満足度を高め、車と比較しても「選ばれる交通手段」になるため、路線バスや地域密着型のコミュニティバス等を連携させ、公共交通網をネットワーク化することで移動の利便性が高く、車に頼り過ぎなくても暮らしやすいまちづくりや、周遊性の高い魅力ある広域観光のまちづくりを目指します。

目指すべき公共交通の将来像

**「車と比べても『選ばれる移動手段』になる」**

- 目標1 地域の交通として利用しなくなる公共交通の実現
- 目標2 安全・安心に利用できる公共交通の実現
- 目標3 車に頼り過ぎないまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現
- 目標4 住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通の実現

#### ○〔改訂〕第5次勝山市総合計画『人にやさしい交通体系の確立』

各地区および利用者のニーズを把握し、高齢者等、車を運転できない交通弱者が利用しやすいバス体系の整備を図ります。（重点項目）・住民ニーズを取り込んだバス路線の見直し、効率化 ・バス利用促進とそのPR

#### ○〔改訂〕勝山市都市計画マスタープラン『人にやさしく生活を支える交通環境づくり』

えちぜん鉄道や路線バス、コミュニティバスなどの利用を促進し、地域の実情に応じたきめ細かな生活交通環境の整備を図ります。

#### ○勝山市地方創生総合戦略『利用しやすいバス体系の整備』

高齢者や子どもなどの交通弱者に利用しやすいバス体系の構築に向け、各地区からの買い物や病院・入浴施設等への利用等に便利な路線整備やダイヤ編成、見やすい時刻表の作成など、利用者目線に立って利便性を向上させます。

■ 公共交通網評価の基本的考え方

地域の情勢や利用者のニーズを把握し、交通弱者が利用しやすいバス体系の整備を図り、勝山市の公共交通網を維持するため、目標値及び指標を設定し、定期的に評価・検証を行う。

■ 評価指標及び評価基準

○えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画

施策のポイント	実施項目	実施内容等
フィーダー交通の整備・充実	コミュニティバスの機能確保とサービス向上	ダイヤ調整等による接続改善、ルート見直し
観光用コミュニティバスの運行	土日祝に観光用コミュニティバスを運行	勝山駅と勝山市内を巡る観光用コミュニティバスの運行
公共交通とまちづくりに向けた意識啓発と利用促進	公共交通とまちづくりへの意識啓発と利用促進	カーフリーデーやまちフェスなどの各種イベントに合わせた、公共交通とまちづくり事業の実施

○第5次勝山市総合計画

施策指標	平成27年度実績	平成28年度以降
市内バス年間利用者数	110,917人	103,000人を維持

平成29年度の取組み

②ケア・ブレイクかつちやまが主催する「介護・終活フェア」に公共交通機関ブースを出展

ケア・ブレイクかつちやま（高齢者ケアに関するニーズを医療、介護、福祉の分野だけでなく建築、商業などの事業者や市民も巻き込んで掘り起こし事業化を目指している任意団体）が主催したイベントに出展し、マイ時刻表作成サービス、運転免許証自主返納事業のPR、公共交通に関するアンケートを実施した。

【次年度への展開】次年度も引き続きケア・ブレイクの活動に積極的に参加する。



平成29年度の取組み

①ダイヤ調整等による接続改善、ルート見直し

■ コミバス「平泉寺線、平泉寺・猪野瀬予約便」の待機時間解消に伴う時刻の変更  
平泉寺神社前での待機時間が最大20分となっているため、時刻を変更することにより待機時間を解消した。

■ コミバス「遅羽線」の運行区域の拡大  
乗り継ぎ等の利用者の負担を軽くするため、運行区域を拡大した。また、利用者が少ない便をデマンド化し、生産性の向上を図った。

■ コミバス「北谷線」小原口停留所の移設  
小原地区の集落から750m離れていた停留所を、集落内に移設した。

■ コミバス「野向線、野向・荒土予約便」野向小学校前停留所を新設  
小学校から最寄りのバス停まで700mあったため、小学校前に停留所を新設した。

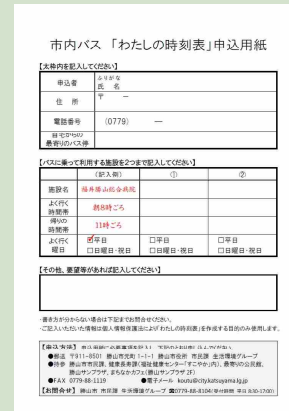
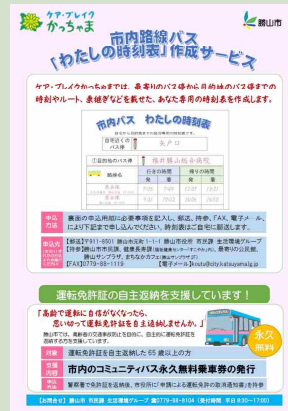
■ 市内観光バス「ダイナゴン」の路線変更  
停車する観光地に新たに福井県立恐竜博物館、旧料亭花月楼を追加し、観光客の周遊を図った。また、えちぜん鉄道との接続を向上させた。

■ 恐竜博物館直通便の便数、時刻の変更  
他の路線と重複を解消し、運行本数を減らし生産性を向上させた。また、えちぜん鉄道との接続時間を見直した。

平成29年度の取組み

③「わたしの時刻表」作成サービスの開始（「ケア・ブレイクかつちやま」との連携事業）

ケア・ブレイクかつちやまと連携し、いつも利用する停留所や区間、時間帯の自分専用の時刻表を作成するサービスを開始した。（平成29年9月実施） ※12/12現在 36件申請  
【次年度への展開】次年度は申請件数が伸びるよう周知・PRに取組む。



平成29年度の取組み

④市内バスの時刻表・乗り換え等検索サービスの開始（ナビタイム）

バスの乗換や停車駅、運行情報など、バスに関する様々な情報を一度に見ることができるアプリに時刻表や運賃表のデータを提供し、スマートフォンやタブレットで検索できるサービスを開始した。（平成29年7月サービス開始）



平成29年度の取組み

⑥バスの乗り方教室の実施

12/8に勝山市高齢者連合会が開催した交通安全教室のあとに、バスの乗り方教室を開催し、各路線の紹介や予約便の予約方法、高齢者運転免許自主返納事業のPRを実施したのち、バス車両を会場の外に用意して体験乗車を行った。

【次年度への展開】

次年度は、より多くの方にバスを身近に感じてもらえるよう、イベントの回数を増やしたい。



平成29年度の取組み

⑤高齢者運転免許自主返納支援事業との連携強化

ダイヤ改正時に配布する時刻表や、わたしの時刻表作成サービスのチラシに高齢者運転免許自主返納制度の記事を掲載した。また、12/8に実施したバスの乗り方教室において、高齢者運転免許自主返納制度をPRした。

【次年度への展開】運転免許の自主返納と、公共交通の利用がリンクするよう取り組む。例えば、バス無料券発行時にマイ時刻表も合わせて作成・送付するなど。



■ 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

○北郷予約便

	目標値	実績値	増減	評価	前年度
①年間利用者数	4,100人	3,977人	-123人	△	4,014人

	上り	下り	合計	(前年)上り	下り	合計
第1便	1,504	1,465	2,969	1,677	1,461	3,138
第2便	325	683	1,008	265	611	876
合計	1,829	2,148	3,977	1,942	2,072	4,014

○平泉寺・猪野瀬予約便

	目標値	実績値	増減	評価	前年度
①年間利用者数	3,500人	4,973人	1,474人	○	3,835人

	上り	下り	合計	(前年)上り	下り	合計
第1便	1,567	1,415	2,982	1,201	1,201	2,402
第2便	952	1,039	1,991	478	955	1,433
合計	2,519	2,454	4,973	1,679	2,156	3,835

■ 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

○北郷予約便

50人以上の増減があった停留所とその要因

第1便上り	前年	今年	増減
上森川（乗車）	185	31	-154
堀名口（乗車）	268	137	-131
田名部口（降車）	192	78	-114
総合病院（降車）	544	384	-160
ゆめおーれ（降車）	496	566	+70

第1便下り	前年	今年	増減
総合病院（乗車）	479	533	+54
堀名口（降車）	115	63	-52

第2便上り	前年	今年	増減
なし			

第2便下り	前年	今年	増減
水芭蕉（乗車）	25	84	+59
総合病院（乗車）	146	80	-66
檜曾谷（降車）	50	0	-50

【特殊要因等】

- ・特殊な要因は見られないが、村部の路線のため、通学や通院者の増減によって利用者数が大きく変わる。
- ・前年は水芭蕉の休業（H28.1-H28.4）があったが、今年は利用者が戻ってきている。

■ 第5次勝山市総合計画の定量的な目標・効果

施策指標	目標値	実績値	増減	評価	前年度
市内バス年間利用者数	103,000人	115,236人	12,236人	○	109,813人

利用人数（人）	H28.10-H29.9	H27.10-H28.9	比較	特殊要因等	評価
ぐるりん中部	17,733	25,392	—	観光路線との兼合いで比較できず	—
ぐるりん南部	7,150	7,463	-313		△
北谷線	6,379	6,142	237	小原口移設	○
平泉寺線、平泉寺・猪野瀬予約便	9,133	7,238	1,895	待機時間解消	◎
遑羽線	3,836	3,193	643	運行区域拡大	◎
鹿谷線	10,460	12,256	-1,796	年々減少している	×
北郷予約便	3,977	4,014	-37		△
荒土線	932	577	355		○
荒土・野向予約便	2,533	2,252	281		○
野向線	983	672	311		○
恐竜博物館直通便	50,260	※32,513	—	H28.4新設	—
市内観光バス	1,854	4,819	—	路線変更あり	—
えちてつデマンド便	—	3,282	—	H28.3廃止	—
合計	115,236	109,813	5,423		

■ 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

○平泉寺・猪野瀬予約便

50人以上の増減があった停留所とその要因

第1便上り	前年	今年	増減
赤尾（乗車）	115	169	+54
NTT勝山前（降車）	93	145	+52
元町（降車）	137	204	+67
水芭蕉（降車）	66	169	+103
総合病院（降車）	229	147	-82
ゆめおーれ（降車）	113	220	+107
勝山駅（降車）	141	247	+106

第1便下り	前年	今年	増減
勝山駅（乗車）	271	400	+129
サンプラザ（乗車）	666	778	+112
平泉寺神社（降車）	222	290	+68
赤尾（降車）	147	216	+69

第2便上り	前年	今年	増減
九頭電ワーク（乗車）	218	584	+366
岩ヶ野第1（降車）	24	146	+122
平泉寺神社（乗車）	132	221	+89
あさひ公園前（降車）	35	234	+199
勝山駅前（降車）	138	197	+59

第2便下り	前年	今年	増減
勝山駅（乗車）	127	192	+65
水芭蕉（乗車）	51	102	+51

【特殊要因等】

- ・前年は水芭蕉の休業（H28.1-H28.4）があったが、今年は利用者が戻ってきている。
- ・平泉寺開山1300年により、勝山駅および平泉寺神社の利用者が増えた。
- ・H29.4付でダイヤ改正（待機時間の解消）した効果が出て、利用者が増えている。

■ 第5次勝山市総合計画の定量的な目標・効果

○京福バス勝山大野線の利用者数

	H29	H28	H27	H26	H25	H24
輸送量（人/日）	15.33	15.33	16.0	15.3	16.0	15.3

19. 通勤・通学別流出人口（15歳以上）

平成27年10月1日現在（単位：人）

区分	勝山市から他市町村へ		
	総数	就業者	通学
県内他市町村への通勤・通学者	4,513	4,083	430
福井市	2,120	1,893	227
大野市	1,362	1,229	133
水芭蕉市	467	432	35
坂井市	356	353	3
あわら市	66	65	1
鯖江市	57	45	12
越前市	61	45	16
その他の市町村へ	24	21	3
県外への通勤・通学者	193	117	76
石川県へ	80	60	20
その他の都道府県へ	113	57	56
合計	4,706	4,200	506

資料：国勢調査

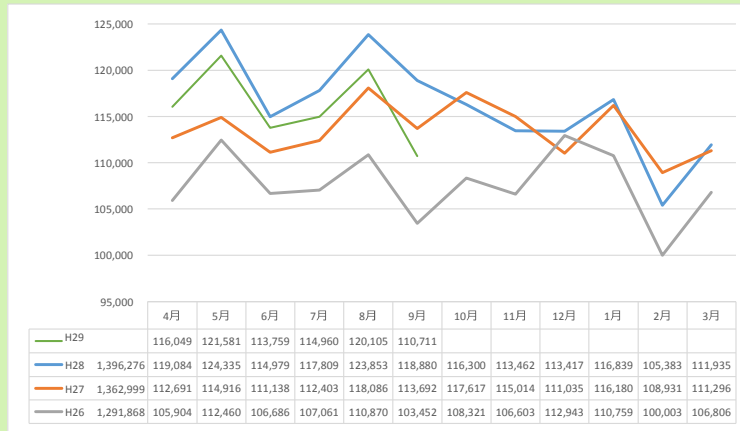
大野市内へ通学（大野高校、奥越明成高校）している生徒が133人いる。

【特殊要因等】

- ・京福バス勝山大野線は、大野市内の高校に通学する学生が主な利用者となっているが、年々利用者が少なくなってきている。
- ・少子化の影響もあるが、高校で話を聞くと、車で送迎も増えているとのこと。
- ・高校生に対してバスの利用促進を行う必要がある。

■第5次勝山市総合計画の定量的な目標・効果

○えちぜん鉄道勝山永平寺線の利用者数



【特殊要因等】  
 ・H28.10を境に前年と比べて減少傾向にあり、福井県立恐竜博物館の入館者数の減少傾向と一致している。

■えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画の目標・効果

施策のポイント	実施項目	実施内容等
フィーダー交通の整備・充実	コミュニティバスの機能確保とサービス向上	ダイヤ調整等による接続改善、ルート見直し

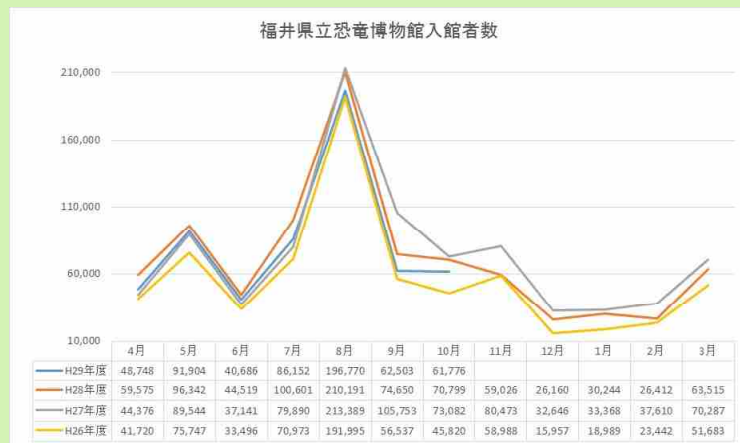
【達成状況】  
 ①コミバス「平泉寺線、平泉寺・猪野瀬予約便」の待機時間解消に伴う時刻の変更  
 平泉寺神社前での待機時間が最大20分となっているため、時刻を変更することにより待機時間を解消した。  
 ②コミバス「渥羽線」の運行区域の拡大  
 乗り継ぎ等の利用者の負担を軽くするため、福井勝山総合病院（京福バス勝山大野線の終点）まで運行区域を拡大した。また、利用者が少ない便をデマンド化し、生産性の向上を図った。

施策のポイント	実施項目	実施内容等
観光用コミュニティバスの運行	土日祝に観光用コミュニティバスを運行	勝山駅と勝山市内を巡る観光用コミュニティバスの運行

【達成状況】  
 ①市内観光バス「ダイナゴン」の路線変更  
 停車する観光地に新たに福井県立恐竜博物館、旧料亭花月楼を追加し、観光客の周遊を図った。また、えちぜん鉄道との接続を向上させた。  
 ②恐竜博物館直通便の便数、時刻の変更  
 他の路線との重複を解消し、運行本数を減らし生産性を向上させた。また、えちぜん鉄道との接続時間を向上させた。

■第5次勝山市総合計画の定量的な目標・効果

○福井県立恐竜博物館入館者数



【特殊要因等】  
 ・H28.8を境に前年と比べて減少傾向にあり、えちぜん鉄道の利用者数の減少傾向と一致している。

■えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画の目標・効果

施策のポイント	実施項目	実施内容等
公共交通とまちづくりに向けた意識啓発と利用促進	公共交通とまちづくりへの意識啓発と利用促進	カーフリーデーやまちフェスなどの各種イベントに合わせた、公共交通とまちづくり事業の実施

【達成状況】  
 ①「介護・終活フェア」に公共交通機関ブースを出展  
 ケア・ブレイクかつやまが主催する「介護・終活フェア」に公共交通機関ブースを出展し、マイ時刻表作成サービス、運転免許証自主返納事業のPR、公共交通に関するアンケートを実施した。  
 ②バスの乗り方教室の実施  
 12/8に勝山市高齢者連合会が開催した交通安全教室のあとに、バスの乗り方教室を開催し、各路線の紹介や予約便の予約方法、高齢者運転免許証自主返納事業のPRを実施したのち、バス車両を会場の外に用意して体験乗車を行った。

- 課題1  
鹿谷線の利用者が年々減少し続けている。  
→対策  
・ニーズを把握し、場合によっては路線の見直しを行う。  
・地域団体、学校等に対して利用促進を行う。
- 課題2  
広域路線「京福バス勝山大野線」の利用者が減少し続けている。  
→対策  
OD調査の実施。  
通学に利用する生徒へ利用促進を行う。  
大野市と連携して利用が増える取組みを行う。
- 課題3  
恐竜博物館などの観光客の減少が、観光路線の利用者減に繋がっている。  
→対策  
観光路線の利用者数は観光地の集客に直接関わるが、WEB、駅、鉄道事業者などに公共交通機関の利用促進を行い、利用者数を維持する。
- 共通の課題  
・ニーズに即した運行改善  
ニーズの把握（OD調査、アンケート調査等）  
利用しやすいダイヤ等の設定  
・免許返納者の増加  
公共交通の利用方法の分かりやすいチラシ等の作成  
・将来を見据えた公共交通による生活交通サービスの確保・維持  
ケア・ブレイクの活動への積極的な関与  
マイ時刻表作成サービスの継続、周知  
高齢者の利用が多い病院や温泉施設専用の時刻表等の作成

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
えちぜん鉄道の網形成計画の目標値の達成状況についても記載すべきではないか。	えちぜん鉄道の網形成計画を今一度内容や目標を確認し、フィーダー交通の整備・充実、観光用コミュニティバスの運行、公共交通とまちづくりに向けた意識啓発と利用促進に取り組んだ。	網形成計画の目標は、単発で達成できるものではないため、今後も引き続き継続して実施していきたい。
市民の読み手に配慮した記載内容としてほしい。	枚数にとらわれず、取り組んだことを分かりやすく大きく記載した。	作成した自己評価が市民の方に分かりやすく見やすくなるよう今後も意識して作成したい。
「ワークショップ」に参加した結果として見えたことや次への展開まで記載してほしい。	「29年度に取り組んだ内容」に、次年度への展開を記入し、今後の目標や計画を策定した。	継続して取り組むため、自己評価には結果と次への展開を明記する。
補助路線だけでなく、ネットワーク全体の評価体系を踏まえた記載としてほしい。	すべてのバス路線に加えて、市内の他の交通網（京福バス、えちぜん鉄道）の利用者数を把握し自己評価した。	問題のある路線だけを分析や対策するのではなく、ネットワーク全体で分析・対策する必要があるため、様々な交通事業者や施設などと連携していきたい。

中部様式2

平成29年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

# 勝山市生活交通地域協議会

平成23年6月27日設置

フィーダー系統 平成27年6月26日 確保維持計画策定

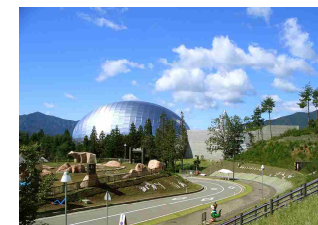
## ■市内観光バス「ダイナゴン」の路線変更による利用者増と生産性の向上

これまでは勝山駅～白山平泉寺の往復だったが、勝山市内の最大の観光地である「福井県立恐竜博物館」をルートに加えたところ、利用者が増加した。

また、運賃を観光路線である「恐竜博物館直通便」と同じにするため（観光路線の運賃の統一）1乗車200円→300円に値上げや、1日フリー乗車券を作成し、生産性の向上を図った。

	H28	H29	増減	比較
利用者数（人）	1,159	1,672	+513	144.3%
運賃収入（円）	203,400	443,300	+239,900	217.9%

※H29のデータはH29.12時点のもの



## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月18日

協議会名: 勝山市生活交通地域協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】  ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
勝山交通(株)	北郷予約便 勝山駅前～福井勝山総合病院～坂東島	・マイ時刻表作成サービスを実施 ・バスの乗り方教室を実施 ・ナビタイムによるバス検索サービスを開始 ・「ケア・ブレイクかつちゃま」と連携強化	A 計画どおり事業は適切に実施できている。	B 利用者数は3,977人となり、目標値である4,100人を下回った。	目標値を下回ったため、問題点やニーズの把握、利用促進を行い、将来を見据えた生活交通サービスの確保・維持に努めたい。
大福交通(有)	平泉寺・猪野瀬予約便 勝山駅前～猪野瀬地区～平泉寺地区～小矢谷	・待機時間を解消するため、ダイヤを見直し(H29.4改正) ・マイ時刻表作成サービスを実施 ・バスの乗り方教室を実施 ・ナビタイムによるバス検索サービスを開始 ・「ケア・ブレイクかつちゃま」と連携強化	A 計画どおり事業は適切に実施できている。	A 利用者数は4,973人となり、目標値である3,500人を上回った。	目標値を上回ったが、引き続き利用者ニーズをしっかりと把握し、利用促進に力を入れたい。また、将来を見据えた生活交通サービスの確保・維持に努めたい。



事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年1月18日

協議会名:	勝山市生活交通地域協議会
評価対象事業名:	地域公共交通確保維持事業 地域内フィーダー系統
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	第5次勝山市総合計画においてあげられた『人にやさしい交通体系の確立』をめざし、各地区および利用者のニーズを把握し、高齢者等、車を運転できない交通弱者が利用しやすいバス体系の整備を図る。また、えちぜん鉄道や路線バス、コミュニティバスなどの利用を促進し、地域の実情に応じたきめ細かな生活交通環境の整備を図る。 えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画においては、車に頼り過ぎなくても暮らしやすいまちづくりや、周遊性の高い魅力ある広域観光のまちづくりを目指すため、えちぜん鉄道と路線バスや地域密着型のコミュニティバス等が連携し、公共交通網をネットワーク化する。